

外国人に支えられている現状ありあり

議員勉強会でハローワーク上越の所長が 雇用状況と人材不足の課題について講演

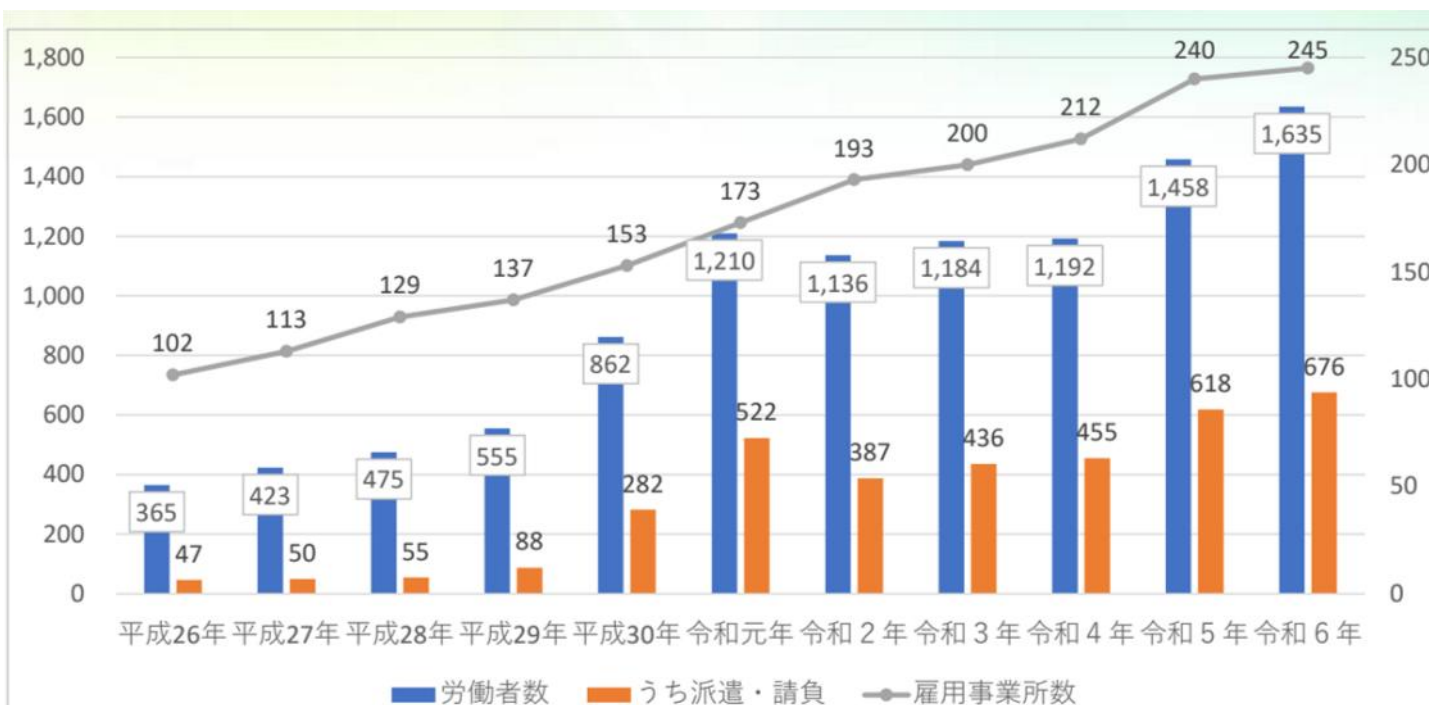
市議会の定例議員勉強会が10月28日に行われ、ハローワーク上越の小林康夫所長が、「上越管内の雇用状況と傾向、人材不足の課題」と題して講演しました。

小林氏は膨大な量の資料を準備して、上越管内の雇用状況や年代ごとの労働者の人数、求人と求職の状況などを詳しく説明しました。

その中で注意を引いた一つは、求

人倍率です。求人倍率は昨年度1.68倍とある程度高い水準を維持しており、職種によっては人材不足が顕著とのことです。

そしてもう一つは、外国人労働者数(右グラフ)です。人材不足を埋めるように年々増えていることがわかります。まさに外国人労働者に支えられており、共生社会の重要な一員であるというのが上越の現状です。



中川市長の任期は11月8日までですので、翌日からは新市長の小菅氏が職務につきます。

これまでは、市民の暮らしをどのようにしていくのかというビジョンがわかりにくいままの市政でしたので、これからはぜひ市民生活をどう支えていくのか、はっきりと示してほしいものです。

ところで、小菅氏の初登庁は10日とのこと。就任は9日のはずですが、9日が日曜日なので10日ということなのでしょう。しかし、9日に地震などの自然災害が起きたら、指揮はだれが執ることになるのでしょうか。9日から任期なので、新市長が執務すべきではないかと思えます。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.887 2025年11月9&16日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
 議員団事務局長 山本 信子 090-4967-0367 (仲町2)
 ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

「本気度」を感じる二戸市・八戸市の暮らし支援

市議会人口減少社会対策特別委員会では、10月6・7の両日行政視察として岩手県の二戸市と青森県の八戸市を訪ねました。

双方とも人口減少に悩んでおり、様々な施策を実行しています。今回はその施策について学んだわけですが、その事業の多さ、一つ一つの中身の豊かさに感銘を受けてきました。

二戸市では、子育て支援だけでもインフルエンザ予防接種費用助成をはじめ実に様々な施策を実施し、だれでも安心して子育てができるようになっています。

八戸市では、移住定住の促進に力を入れており、移住者には夫婦と子ども2人で400万円が支給されるなど、かなりの大盤振る舞いになっています。

両市ともこのように覚悟を決めた施策を展開しており、善し悪しはともかく、まさに「本気度」が感じられました。当市においても「本気」の施策が求められます。

二戸市の こども・子育て 支援施策について



二戸市健康福祉部 こども家庭課

【③子育て期の支援】

・小児インフルエンザ予防接種助成 (市単独事業)
 生後6か月から小学生までの児童に対する予防接種助成を実施。(R2～)
 助成上限額は2,500円、2回接種まで助成(※中学生は1回助成)

八戸市への移住を考えている方へ!
 東京圏から
 八戸市への移住で
最大 100万円
 支給します!
 2人以上の世帯は100万円
 単身者は60万円
 プラス +
 【子育て世帯】なら
 お子様1人につき
100万円の加算!!
 【子育て世帯】
 高校生に該当する年齢までの
 子どもを転入した世帯のことです。

「しんぶん赤旗」日曜版は11/9号と11/16号が合併号です。来週は配達がありません。